

青木省一君 BOXに協力。

山崎勲君 //

大橋政雄君 //

横田加代子君 //

卓 話： 新春卓話「釣りの話し」 R I 第2560地区第4分区アシスタントガバナー桑原寛治様



皆さん、こんにちは!!

昨年の犬年は第四分区のAGをおおせつかり、ロータリーについていろんなことを学び、大勢の分区内のロータリアンと出会い、ふれあい、又お盆にはロシアのカムチャツカまで行ったりで楽しく思い出の多いワンだふるな一年でした。

これも我等が中條ガバナーのお陰と心より感謝し、又ガバナーを支えていただいた齊藤地区幹事をはじめ、スタッフの方々、それに三条北ロータリークラブの心を1つにしたご協力の賜とAGとしてまずもって厚く、深く感謝申し上げます。

特に57番目の最後の中條ガバナーの公式訪問のお伴で昨年12月21日北クラブさんの家族パーティにお招き頂き誠に有り難うございました。

で、その時小林会長さんにちらっと「事前訪問しないでスミマセン。その代わりと言っては何ですが2月に卓話にでもお伺いしましょうか」と言っちゃた事が今日のこの時になってしまったわけです。

何を話しするといっても「ロータリーについての話し」なんてことはガバナーや地区幹事の前ではとても恐れ多くて出来るもんではなし、そこでハッと考えたのが21日の家族パーティでロシアの民族衣装をつけてサーモンを釣ったことを思い出しまして、じゃ「釣りの話し」をしようという事にしたわけです。で、ちょっとおことわりしておきますが、昨年秋頃から咳が止まらなくて医者に診てもらったところ「せき喘息」という病名を頂きました。もし話しをしているうちに咳込んだり、倒れたりしましたら宜しくご容赦くださいますようお願いいたします。こんなことを昨年秋、見附クラブの事前訪問で申し上げましたら、隣におりました会長がすかさず「桑原AGご心配ありません。会員の中にはお医者さん、お坊さん、葬儀屋さんもありますのでご安心下さい」と言われました。

まゝ倒れずに済みましたが。あとで名簿を見たのですが、確かに会員の中にはお医者さんには歯医者さんではございますが、お坊様は幹事が西蓮寺の住職さんで、葬儀屋さんもしっかりおりました。松本葬祭やさんでは、は〜んと納得しましたが。。。。。

北クラブさんはお医者さんに坊さんに葬儀さんは揃っておりませんよね。まゝ倒れることはないと思いますが。（加茂クラブでは今年になって葬儀屋さんの副社長さんの奥さんが入会しまして、医者と天理教ですが坊さんも揃っております）

さて、釣りの話しですが、加茂クラブには4年前の平成15年9月に「釣りクラブ」を作りまして、今会員は女性1名を含め10名で、年3、4回みんなで寺泊から遊漁船で海釣りを楽しんでおります。

私が何故か釣りバカ日記に出てくるハマちゃん、涌井建設の社長がスーさん、あとは玉ちゃん、コーちゃん、マーちゃんなどなどで楽しく呼び合っております。寺泊港には約15隻の遊漁船があって私共はもっぱらベテランのマーちゃんの馴染みの「早川丸」。でどちらかと言うと若い元気のよい「船頭」、と言わないで「船長」と呼んでいます。大体寺泊沖や出雲崎や角田の沖での岩場やテトラを沈めた漁礁で釣ります。勿論ねらいは真鯛です。真鯛は昔から芽出たい魚で七福神の恵比寿様が抱いている日本の昔から最高の魚ですし、刺身によし、酒蒸し、煮物、吸い物、かぶと蒸して最高の魚です。効能も肝臓病予防、血液浄化、中性脂肪低下などでお陰様でタイを釣って食べている私はこんなにスマートなんです？

昨年の初夏6月末、朝11時0分に出て夕方5時で終了、帰港するのですが、この日船長に「ロスタイムを5分お願い」と頼んで1分過ぎました時、グーッ、グーッと強い当たりがあり、ハリスを切らないよう、切れないよう慎重にゆるめてはたぐり寄せの繰り返しでようやく真鯛の魚影が見えて、タモで釣り上げたらなんと60cmの見事な真鯛、これで今日の竿頭、と隣の涌井スーさんのやわらかい竿がグーッと、約3分のやりとりの末釣り上げたのがなんと約64cmの大きい奴、これでハマちゃんの竿頭が吹っ飛んだーっ、と並べて分かったことは私の釣ったのが赤みの多いきれいなメスの鯛で、スーさんのはちょっとドス黒いオスの鯛、つまり夫婦で泳いでいたところメスの方がエサを喰い引っ張られ、これを見たオスがメスを助けようと思い喰いついたんでしょうが。たまにオスメスが一緒に釣れることもあるそうで、この夫婦愛に感謝しつつおいしく食べて供養した次第です。

タイの他にもでっかいアジやイナダ、サワラ、太刀魚など様々の五目釣りですが何故か昨年の私の竿だけにフグがかりましてこれがトラフグに負けない約40cm位の立派なもの、これを3回、2匹、1匹、2匹と合計5匹釣り上げましたが、これは鯛に負けない位おいしく、フグチリ、カラ揚げ、フグ鍋などもうたまらないですね。

我が釣りクラブとともに「釣った魚を食べる会」もあるんです。酒屋の親父が会長で、会員の料理屋さんで釣った魚をすぐ調理してもらい、会長の持参した酒で豪快に食べるんですね。その時先程言った竿頭の表彰を行います。このタイガースの絆纏にその時の竿頭が書き入れられ皆で記念撮影などで祝ってあげるんです。何故、阪神の絆纏なのかと申しますと「鯛ガース」ですから。又、お互いに帰りの船の中でひねりだした川柳を披露しあうんです。例えば

- ・七福神 鯛も踊って 大漁船
- ・初めての 大鯛かかりて 手も震え
- ・秋真鯛 なんや釣れるは となりだけ
- ・エンジンも ジャズの音色や 大漁船
- ・釣り談義 話すたびに 型が増え
- ・釣れぬ日は アメヨコ鮮魚 チラチラと
- ・夕日背に 今日も大漁の 釣りクラブ

ともかくその日の午後に釣ったばかりの魚を食べ川柳をお互いに交換し、食べ、笑いの楽しいひと